

国スポ・障スポ大会・観光振興対策特別委員会 県外行政調査

1 調査日 令和7年10月21日（火）～22日（水）

2 調査の概要

（1）10月21日（火）

○SAGA サンライズパーク（佐賀県佐賀市）

令和6年に国スポ・全障スポ大会が開催された佐賀県では、平成30年から「SAGAスポーツピラミッド構想（通称SSP構想）」による、中長期的なトップアスリートの育成を通じたスポーツ文化の裾野拡大の取組を進めている。このSSP構想では、スポーツに「稼ぐ」という視点を重点的に取り入れ、スポーツのビジネス展開や、アスリートがスポーツで生活できるためのセカンドキャリア支援などに取り組んでおり、令和7年3月には、これらの取組の加速化を図るため、「SAGAスポーツピラミッド構想推進条例」が制定されたところである。

また、佐賀県大会の会場となったSAGAサンライズパーク内のSAGAアリーナ（令和5年完成）は、九州最大級の「稼げるアリーナ」として、大会以降も、音楽ライブや大型催事が数多く開催されるなど、佐賀駅前地域の地域振興の起点になっている。

滋賀県においては、令和7年10月8日に国スポ大会が閉会し、今後は、新たに整備した競技会場の活用や選手の育成、地域におけるスポーツ文化の醸成など、県や市町、地域スポーツの関係者などが一体となって、この大会のレガシーを引き継ぎ、滋賀県スポーツの振興につなげていく必要がある。

このことから、本県の今後の取組に係る委員会調査の参考とするため、先催県である佐賀県の取組を調査した。



(2) 10月22日(水)

○福岡県議会（福岡県福岡市）

福岡県では、令和6年に大分県およびJR6社と共同で、福岡・大分デスティネーションキャンペーンが開催され、4月から6月末までのキャンペーン期間中、好評を博した県内周遊バスツアー「よかバス」の取組をはじめ、著名人を招いたセレモニー・体験型イベント、宿泊・飲食クーポンの配布等により、福岡県内で356億円（当初見込230億円）という大きな経済波及効果を生んだ。

滋賀県においては、27年ぶりとなる令和9年秋のデスティネーションキャンペーンの開催が決定し、現在、実行委員会を立ち上げ具体的な取組の検討が進められているところであり、今後の本県の取組に係る委員会調査の参考とするため、福岡県の取組を調査した。

○福岡県庁「福岡よかもんひろば！」（福岡県福岡市）

「福岡よかもんひろば！」は、福岡県内の伝統工芸品や特産品、観光情報等を発信する福岡県庁の最上階にある物産観光展示室である。時期ごとに企画展やワークショップが開催されるとともに、県産食材を使ったカフェや県産品等を販売するショップ、博多湾を一望できるフリースペースなどが併設されている。

滋賀県においても、県庁舎内で観光情報や県政情報が発信されているところであるが、さらなる観光情報の発信強化や、現在、検討されている県庁舎等の在り方検討も見据え、福岡県における県庁を生かした観光情報等の発信の取組を調査した。

